

栃津川流域の陸産甲殻類

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31

Terrestrial crustaceans from Tochizugawa River, Tateyama-machi, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

Terrestrial crustaceans including isopods and amphipod were surveyed together with freshwater animals of Tochizugawa. As the result of the survey, six species of isopods and one species of amphipod were enumerated.

栃津川は座主坊付近に発し、立山町の農村地帯を流れ、白岩川に注ぐ。今回は河川内と土手、ならびに土手に隣接した森林がある場合その境界付近を対象にそこに生息する陸産甲殻類について見つけ採りを行い、リターがみられる場合、シフティングにより採集、調査を行った。

街地などで多くなっているワラジムシも少なかった。出現種類数も一地点あたり、1.05種であり、一連の調査で比較すると、魚津の角川よりやや多いが、余川川流域と比較すると3分の2程度である。これは、土手に隣接する豊かな森林が欠如していることなどによると思われる。

調査日程 (すべて平成21年) と調査場所

- 6月20日 (布村) 山地から平地に抜ける
- 7月23日 (布村) 中-下流部
- 8月3日 (布村) 中流部
- 9月5日 (布村) もっとも下流部
- 9月12日 (布村) 主に上流部

端脚目 (ヨコエビ目) Amphipoda

ハマトビムシ科 Talitridae

オカトビムシ *Platorchestia humilis* (von Martens)
1頭、経田橋、8月3日、布村昇; 6頭下竹橋、9月5日、布村昇;

等脚目 Isopoda

フナムシ科 Ligiidae

ニホンヒメフナムシ *Ligidium (Nipponoligidium) japonicum* Verhoeff

1♀、座主坊手前、1♂3♀3y、下竹橋、9月5日、布村昇

ホンワラジムシ科 Oniscidae

オカメワラジムシ *Exalloniscus cortii* Arcangeli
2♂♂2♀♀、上金剛寺のトビイロケアリの巢内8月3日、布村昇

調査結果

今回の調査において陸産甲殻類について等脚目6種と端脚目1種の生息が確認された。

河川内と土手の部分はそれほど広くなく、かつ上流部を除いて森林と接続している調査地点は少なかった。したがって、ニホンヒメフナムシも最上流部の森林を含む地域だけで確認されたし、県内標高の低い地域の自然林の林縁に普通なセグロコシビロダンゴムシが全く確認されなかった。全体に比較的乾燥した環境を好み人為の影響をうかがわせるオカダンゴムシが多かった。しかし、市

Agnariidae

フイリワラジムシ *Mongoloniscus maculatus* Iwamoto
1♀ふるさと橋、8月3日、布村昇；1♀下竹橋、9月5日、布村昇

サトワラジムシの一種 *Mongoloniscus* sp.
2♂♂4♀♀、寺田橋、7月23日、布村昇。本種については未記載種である可能性も高いと思われる、更に分類学的位置を検討し、別に公表する。

ワラジムシ科 Porcelionidae

ワラジムシ *Porcellio scaber* Latreille

11♂♂8♀♀、若狭姫橋、9月5日、布村昇；2♂♂2♀♀白岩川合流点、9月5日、布村昇

オカダンゴムシ科 Armadillidiidae

オカダンゴムシ *Armadillidium vulgare* (Latreille)

2♂♂八幡社横、8月3日、布村昇；3♂♂、経田橋、6月20日、布村昇；1♂塚田橋、8月3日、布村昇；5♀♀金剛寺橋、8月3日、布村昇；1♂1♀、坂井沢橋、9月5日、布村昇；1♂野町橋、8月3日、布村昇；6♂♂6♀♀下竹橋、9月5日、布村昇；1♂1♀、高原橋、8月3日、布村昇；3♂♂辻橋、7月23日、布村昇；1♂寺田橋、7月23日、布村昇；1♂若宮大橋、7月23日、布村昇；1♂1♀白岩川合流点、9月5日、布村昇

表1 出現動物の余川川、角川との比較

	栃津川	余川川	角川
ニホンヒメフナムシ	10	27	17
ナガワラジムシ	0	0	8
オカメワラジムシ	5	0	0
サトワラジムシの一種	5	0	0
ホクリクキトラシムシ	0	5	0
フイリワラジムシ	10	0	0
セグロコシビロダンゴムシ	0	23	8
ワラジムシ	10	14	0
オカダンゴムシ	65	64	17
オカトビムシ	10	22	8
ニホンオカトビムシ	0	0	25
平均出現率	1.05	1.52	0.83

引用文献

- 布村昇 (2007) 魚津市角川流域の若干の無脊椎動物. 富山の生物 47: 63-64.
布村昇 (2008) 氷見市余川川流域の陸産フクロエビ甲殻類. 富山の生物: 48: 29-30.
Nunomura N. (2010). A new species of the genus *Mongoloniscus* (Crustacea: Isopoda) from Toyama Plain. Bull. Toyama Sci. Mus. (印刷中)

付表 栃津川流域の陸産甲殻類一覧(数字は確認個体数)

地点名と土手および隣接地の環境	ニホンヒメフナムシ	オカメワラジムシ	サトワラジムシの一種	フイリワラジムシ	ワラジムシ	オカダンゴムシ	オカトビムシ
座主坊手前	1						
唐杉橋							
栃津橋							
吉峰橋							
若狭姫橋					19		
八幡社横						2	
経田橋						3	1
ふるさと橋				1		10	
上金剛寺橋		4					
塚田橋						1	
金剛寺橋						5	
坂井沢橋						2	
金剛新橋							
野町橋						1	
下竹橋	7			1		12	6
高原橋						2	
辻橋						3	
若宮大橋						1	
寺田橋			6			1	
白岩川合流点					4	1	
出現箇所数	2	1	1	2	2	13	2
出現地点率 (%)	10	5	5	10	10	65	10

立山町栃津川畔から発見されたオカメワラジムシ

布村 昇

富山市科学博物館 〒939-8084富山県富山市西中野町1-8-31

Exalloniscus cortii from a bank of Tochizugawa River, Tateyama-machi, Toyama Prefecture, central Japan

Noboru Nunomura

Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan

During the biological survey of Tochizugawa River and its watershed, Tateyama-machi, Toyama Prefecture, I found some specimens of *Exalloniscus cortii* Arcangli, 1927 together with an ant, *Tetramorium tsushimae* Emery, 1925.

Because, the description of this species have been insufficient, therefore, I redescribed this species here.

栃津川調査の際、富山県立山町上金剛寺の土手でトビイロシワアリ *Tetramorium tsushimae* Emery, 1925 の巣からオカメワラジムシが発見されたので、若干の付属肢などについて記載する。本種は Arcangli (1927) が記載し、その後 Nunomura (1986) や Taiti and Ferrara (1988) が再記載をしているが、トビイロシワアリの巣内から発見されたのは初めてなので、改めて報告する。

本標本は富山市科学博物館 (TOYA Cr. 19953-19956) で保管される。稿を進めるにあたり、アリの同定をしていただいた根来尚館長に御礼申し上げる。

オカメワラジムシ

Exalloniscus cortii Arcangli, 1927

調査標本: 2♂♂ (体長3.0-3.9mm) 2♀♀ (体長2.6-3.5mm)、立山町金剛寺、2009年8月3日、布村昇採集。

雄標本の記載: 体長は最大体幅の2.4倍。体色はかすかな茶色を伴った白色。

第1触角は末端に4本の感覚剛毛を持つ。第2触角は第一胸節の前半部まで届く、鞭部は3節からなり、それぞれの比は2:1:1である。また、目

が小さく、各眼は5-6個眼からなる。

右大顎門歯状突起は3つの山があり、可動葉片はキチン化しない、2本の羽状剛毛；白歯状突起は1本の剛毛となる。第1小顎の外葉は10本の単純な歯からなる第2小顎は通常型；顎脚外葉は四角。顎脚鬚は太く短い。

第1胸脚、底節の長さは幅の3.5倍、座節は底節の4/7の長さ；長節は座節の3/4の長さ；腕節は長節とほぼ同長で内縁に10本程度の剛毛を持つ；前節も腕節とほぼ同長、内縁に基部に1本、末端付近に1本の剛毛があり、その内側に5-6本の短い剛毛を持つ；外縁に短く三角形の剛毛のまとまりを持つ。

第5胸脚、底節の長さは幅の2.9倍、座節は底節の45%の長さで内縁に5本、末端付近に6-7本の剛毛をもつ、長節は座節よりやや短く、内縁に1本の長い物を含め5-6本の剛毛を持つ；腕節は長節の1.6倍の長さがあり、内縁に4本の剛毛、外縁に5短く三角形の剛毛のまとまりを持つ；前節は腕節よりやや短く、内縁に4本の剛毛、外縁に5短く三角形の剛毛のまとまりを持つ。

第6胸脚、底節の長さは幅の3倍、座節は底節の55%の長さ内縁に6-7本、外縁に2本の剛毛を持つ；